

第85回 全日本男子ホッケー選手権大会

開催日時 12 月 10 日 (土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 〈Aコート〉

第1試合 9:30	天理大学	1	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$	2	立命館大学
第2試合 11:10	名古屋フラーテルホッケーチーム	5	$\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$	1	RIVERSOUL岐阜
第3試合 13:10	小矢部RED OX	4	$\begin{pmatrix} 3 - 1 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$	3	福井クラブ
第4試合 14:50	山梨学院大学	3	$\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$	4	慶応義塾大学

【各試合の結果・詳細】
Aコート 第1試合

$$\text{天理大学} \quad 1 \quad \begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 1 - 1 \end{pmatrix} \quad 2 \quad \text{立命館大学}$$

<得点>

天理 : 63分#6三谷
立命館 : 11分#9藤吉 62分#9藤吉

<戦評>

天理大学のセンターパスで試合が開始された。11分立命館大学が前線でボールを奪いパスを繋ぎ、混戦から#9藤吉が押し込み先制する。その後、お互いにチャンスを作るも得点には至らず前半を終える。

後半開始から同点に追い付きたい天理が、47分P Cのチャンスを得るも立命の堅い守備により決めることができない。追加点が欲しい立命が、62分P Cから#1村上のシュートを#9藤吉がタッチし、追加点を挙げ天理を突き放す。追う天理も直後63分#6三谷が、巧みなドリブルで持ち込みシュートを決め1点を返すも、そのまま立命が逃げ切り2-1で勝利した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	藤村 利道
ジャッジ	大橋 俊彦		押田 幸二
サジェスチョン	富山 喜正		
	安枝 和子		

Aコート 第2試合

$$\text{名古屋フラーテルホッケーチーム} \quad 5 \quad \begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 1 - 1 \end{pmatrix} \quad 1 \quad \text{RIVERSOUL岐阜}$$

<得点>

名古屋フラーテル : 12分#6河内 22分#14長澤 25分#14長澤 34分#5渡邊 41分#4小野
岐阜 : 65分#6高島

<戦評>

RIVERSOUL岐阜のセンターパスで試合が開始された。立ち上がりから激しい攻防が続く。12分名古屋フラーテル#6河内が#11川上啓との巧みなワンツーパスからシュートを決め先制する。その後勢いに乗る名古屋は、22分、25分とP Cを取得し#14長澤がフリックシュートで決めリードを3点に広げる。対する岐阜は26分P Cを取得するが、名古屋の堅い守備で得点することができない。前半終了間際名古屋#17橋のパスを#5渡邊が冷静にシュートを決め4-0で前半を折り返した。

後半立ち上がりも名古屋が押し気味にゲームを進め、41分#4小野のシュートで追加点を挙げ、確実に差を広げていく。対する岐阜もあきらめず果敢に攻め込み65分チャレンジで取得したP Cを、#6高島がタッチシュートを決め待望の得点を挙げるも、5-1で名古屋が逃げ切り勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	下島 多美子		成田 健一
サジェスチョン	戸塚 洋介		
	平尾 豊		

Aコート 第3試合

小矢部RED OX 4 $\begin{pmatrix} 3 - 1 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$ 3 福井クラブ

<得点>

小矢部 : 2分#12高橋 19分#3早田 28分#26丸山 60分#5高嶋
 福井クラブ : 15分#2為国 55分#2為国 64分#7渡辺

<戦評>

福井クラブのセンターパスで試合が開始された。前半開始早々小矢部RED OXは、#4太田のセンターリングを#12高橋がタッチシュートを決め先制する。対する福井は15分にPCのチャンスを得ると#2為国がフリックシュートを確実に決めすぐさま同点とする。勝ち越したい小矢部は19分#3早田がサークル内でパスを受け、ヒットシュートを決め勝ち越すと、28分にもPCを取得し#26丸山が豪快なフリックシュートを決め小矢部がリードを2点差として前半を終える。

後半開始から両チーム一進一退の攻防が続く。先に得点を取ったのは、追いかける福井。55分PCのチャンスで、#2為国が左下にフリックシュートを決め、1点差に詰めよる。リードを広げたい小矢部は、60分タッチシュートのリバウンドを#5高嶋が冷静に決め差を広げる。最後まであきらめない福井は、65分パスカットから#7渡辺がシュートを決め、1点差にするも小矢部が逃げ切り4-3で勝利した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	大橋 俊彦		鈴木 茂明
サジェスチョン	藤村 利道 安枝 和子		

Aコート 第4試合

山梨学院大学 3 $\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$ 4 慶応義塾大学

<得点>

山梨学院 : 21分#6西川 33分#6西川 64分#23原田
 慶応義塾 : 9分#1金子 31分#6川上 55分#14飯高 69分#21田中

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスで試合が開始された。9分慶応義塾大学が素早いカウンターから#1金子がシュートを決め先制する。同点においつきたい山梨は21分PCから#6西川がフリックシュートを決め同点とする。同点のまま一進一退の攻防が続くが、31分慶応がPCから#6川上がタッチシュートを決め再び1点リードするも、その直後の33分に山梨がPCをとり、#6西川がフリックシュートを決め2-2の同点として前半を終える。

後半はお互いにチャンスを作るも、活かすことができない。均衡を破ったのは慶応。55分#3的場のセンターリングを#14飯高が決め再びリードする。粘る山梨は、64分#9北里のスルーパスに#23原田が飛び出しシュートを決め同点とする。このまま試合終了かと思われた69分PCから慶応#14のシュートを#21田中が決め、粘る山梨を振り切り慶応が4-3で激闘を制した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	下島 多美子		小原 直也
サジェスチョン	成田 健一 千野 雅人		

明日の組み合わせ (Aコート)

第1試合	立命館大学	(-)	福井クラブ
9:30		(-)	
第2試合	RIVERSOUL岐阜	(-)	慶応義塾大学
11:10		(-)	
第3試合	小矢部RED OX	(-)	天理大学
13:10		(-)	
第4試合	山梨学院大学	(-)	名古屋フラーテルホッケーチーム
14:50		(-)	